

川口市協働推進課主催男女共同参画セミナー

「SDGsって何だろう？」講演概要

講師 外務省国際協力局 地球規模総括課課長補佐

春田 博己 氏

とき 2020年12月5日（土）午後3時～4時30分

場所 キュポラ本館棟M4階

かわぐち市民パートナーズステーション会議室

○川口市協働推進課川田課長挨拶

男女共同参画のセミナーとして、SDGs目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」の観点から毎年数回の講演会を開いている。今後もすべての人が等しく平和に住み続けていくためにとの視点で取り組んでいく。

○講師自己紹介

入省してアラブ首長国連邦とイエメンに順次配属された。アラブの諸国と言っても、国によって大きく事情が大きく異なっている。アラブ首長国連邦はオイルマネーで潤い、首都アブデビ、ドバイなどは近代的な超高層ビルが立ち並んでいる。オイルダラーの20%は日本からの資金を占める。住民の70%が外国からの出稼ぎ労働者。30%が自国民で英語が共通言語となっている。

イエメンは資源のない国で首都ナサアの街並みは800年前とほとんど変わっていないと言われている。世界の最貧国の一つ。

SDGsの視点から、アラブ首長国連邦は脱炭素化の流れの中で新たな産業を取り入れなければならない。イエメンは貧困からの脱出。両国ともイスラム教のため女性の地位向上を図っていく必要に迫られている。

その後、儀典官室勤務となって、来日した外国要人の対応、日本の要人の海外随行の仕事に従事した。

今は現職場で4人の担当で全国に講演に出かけている。昨年120回の講演を行ったが、今年はコロナの影響であまりできなかった。

○持続可能な開発目標

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため策定された。2001年からのMDGsが採

扱われたが、政府レベル開発途上国向けの取組みで、民間には広く浸透しなかった。その反省から策定された。

目標 1 から 6 は 伝統的目標

目標 7 から 12 は 経済的目標

目標 13 から 17 は 環境的目標 に大別できる。

○SDGs の性格

普遍性—先進国を含め、すべての国が行動

包摂性—人間の安全保障の理念を反映

参画性—全てのステークホルダー（関係者）が役割を

統合性—社会・経済・環境に統合的に取り組む

透明性—定期的にフォローアップ

○SDGs を巡る内外の動向

- ・ 不安定・不確実な国際社会において—持続可能な未来を作るためには「変革」が必要
- ・ SDGs は絡み合う課題を同時かつ根本的に解決し。持続可能な未来を示す羅針盤
- ・ SDGs 推進は大きな成長と利益のチャンスをもたらす

※世界経済フォーラムの推計によればSDGs 推進により 12 兆ドルの価値、3 億 8 千万人の雇用が創出される。

- ・ 各アクターはSDGs に積極的に取り組むメリット、取り組まないリスクを考慮
SDGs で協力し、競争する必要がある。

○SDGs 推進のための政府の取組み

- ・ SDGs 推進本部の設置

総理を本部長、官房長官と外務大臣が副本部長。全閣僚を構成員とする

半年に 1 回討議

- ・ 本部の主な取組

1 SDGs 実施指針の策定（2016 年 12 月策定、2019 年 12 月改定）

2 SDGs アクションプランの作成・それに基づく施策実施

3 本の柱を中核とする「日本のSDGs モデル」の展開

① ビジネスとイノベーション

② SDGs を原動力とした地方再生

③ SDGs の担い手としての次世代・女性のエンパワーメント

3 ジャパンSDGsアワードの実施（表彰・推進会社の顕彰）

有識者会議で選定し内閣の意向が入る

2019年度受賞団体（第3回目）

- ・総理大臣賞 ・魚町商店街振興組合
- ・内閣官房長官賞 ・大阪府
 - ・「九州力作野菜果物プロジェクト」（代表イオン九州株）
- ・外務大臣賞 ・NPO法人 TABLE FOR International
 - ・株式会社富士メガネ

4 SDGs 未来都市の選定一（補助金の支出）

2018年29の自治体、2019年31の自治体が選定

10の自治体が未来都市に認定され住環境が優れていることで移住者の増加や企業誘致が見込まれる。

5 SDGs 推進円卓会議

推進本部会議の下部会議で行政、NGO、NPO、有識者、民間セクター、国際機関、労働組合、消費者団体などの広範な関係団体が協力していく趣旨で意見交換がなされている。

○SDGsサミット2019

グテーレス事務総長は「進展はしたが、あるべき姿には程遠い。2030年まで「行動の10年」と位置付けて加速させるべきと主張。

「政治宣言」の概要

- ① SDGs 達成に向けたコミットメントの確認
- ② 現状分析（極度の貧困、子どもの死亡率、電気・水へのアクセス等で進展、他方、
飢餓、ジェンダー、格差、生物多様性、環境破壊、海洋プラスチックごみ、気候変動、
災害リスクへの対応の遅れ）
- ③ アクションの加速化（資金、実施体制、地域の取組、強靱性構築など）

○SDGsの達成度

2020年SDGs達成度ランキングで日本は17位。アジアで1位。しかし、ジェンダー、CO₂などの環境対策が遅れている。

1位 スウェーデン 2位 デンマーク 3位フィンランド 4位フランス 5位ドイツ
6位ノルウェー 7位オーストリア 8位チェコ 9位オランダ 10位エストニア

11位ベルギー 12位スロベキア 13位英国 14位アイルランド 15位スイス
16位ニュージーランド 18位ベラルーシ 17位日本 19位クロアチア 20位韓国

○SDGsの主流化

SDGsの学校教育 新学習指導要領に基づいて

2020年度小学校で実施 2021年度中学校で実施 ※大人より子どもの方が知っている
という逆転現象が生じている。

○今後の政府の取組とその発信・展開

- ・一層の普及・啓発活動を通じて、全国津々浦々までSDGsの認知度を上げる。
- ・SDGsを具体的な行動に移す企業・地方を政府の各種ツールを活用して後押し。
- ・官民のベストプラクティス（最も効率的な手法）を通じて得られたSDGsの推進の
理念・手法・技術を国内外に積極展開

○SDGs達成のために

① SDGsを知る

大学の授業、セミナー・イベントに参加、ニュース・インターネット・書籍・漫画
に触れる、SNS

② 自分にできることを考える

個人として

団体・グループとして

職業（民間企業、公務員、NPO・NGOとして）

③ できるところからやってみる

○質疑応答

川口市内の小学校の先生から 「小学生用の絶滅危惧種資料を探しているが適当な
ものはないか？」

講師 「私に連絡してもらえれば協力できると思う。他に何かあれば相談してほしい」